

シリーズ
interview

この人に聞く

第81回

11月29日に埼玉県で行なわれる「全国小学生ティーボール選手権大会」に出場する海田スラッガーズスポーツ少年団ティーボールチーム監督に、お話を聞きました。

聞き手／白井委員

全国大会出場！

監督 建部 正明さん
たてべ まさあき

●指導者になったきっかけは？

平成30年に創設されたチームで、立ち上げメンバーだった友人から「手伝ってもらえないか」と誘われ「時間が合えば」ということで、見学したところから始まりました。海田中学校時代に野球部に所属していたこと、もともと子どもが好きということもあり、チームに関わるようになりました。

●チームの指導方針は？

技術や勝ち負けというのもありますが、家族への感謝や、礼儀を身につけることを重視しています。将来、野球を続けるとしても、他のスポーツをするにしても、スラッガーズでの経験を生かしてほしいです。

※ティーボールとは……止まったボールを打つソフトボールに似たスポーツです。

●チームの運営や子どもたちに期待することは？

保護者の協力があり、チーム運営が成り立っています。ソフトボールや野球を楽しみ、長く続けてほしいです。また、チームで過ごした経験が今後の人生に生きるものになってくれればと思います。

スラッガーズで一緒に過ごした仲間と卒団後も仲良くしてもらえたら幸いです。

●今後の活躍をお祈りしています。



作戦タイム中です

皆さまから寄せられた
お便り

たくさんのお便りが届きました!!

◆ひまわり大橋、九十九橋はきれいになりましたね。明神橋西詰交差点もどうなっていくますかね。(50代)

今後、工事予定です。

◆全般興味深く拝読しました。特に橋当てクイズが楽しかった。

さりげなくコミュニティバスをヒントにする配慮があり、前回と比べて分かりやすかったと思います。(30代)

◆議会だよりの一般質問Q&Aで、町の状況や今後の計画などを知ることができています。これからも関心を持って、情報をキャッチしていきたいです。(30代)

◆議会だよりの「町政を問う」をしっかりと読むようになりました。

子供が2人いて、今年度から上の子は小学生になりました。これから住み続けていく上で、海田町はどう変化していくのか、どんなことに力を入れているのかが気になるようになりました。

計画、取り組みなどをピックアップし、見開き1ページに掲載されるのはいかがでしょうか？

町政に興味を持ったり、意見も出たりするのではと思います。(40代)

◆橋を探すのが楽しみです。(50代)

※お便りありがとうございました。頂いたご要望につきましては、執行部にお伝えします。これからもどんどんお寄せください。待ってます。

第
138回

クイズ

ふるって
ご応募ください



何と言う橋
でしょうか？

応募方法

※橋の名前をお答えください。

- 郵便ハガキまたは電子申請（下部2次元コード参照）によりご応募ください。

記載事項

住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え
（余白に、議会へのお便り、要望、意見、イラストなど書いていただければ大歓迎です。）

- 正解者の中から抽選により、5人の方に図書カードを送ります。
- イラストが掲載された方にも、図書カードを送ります。
- 締め切り／令和8年10月31日（当日消印有効）
- ハガキのあて先／〒736-8601 海田町南昭和町14-17

海田町議会事務局

※ご応募いただいた方の個人情報は、ご意見などへの回答や抽選、図書カードの発送以外の目的には使用しません。

※投稿していただいたイラストやご意見は、掲載させていただく場合があります。



前回の正解 「栃木橋」

応募総数28通（正解27通）でした。

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



議員研修会報告



講演の様子

8月19日、広島県町議会議員研修会が開催され、13名の議員が参加しました。

講演

「いま議会に求められる
ハラスメント感覚とリスク管理」

講師

わくい みわこ
涌井 美和子さん
（合同会社オフィスブリズム代表）

講演では、実際にあった議員の具体例を通じて、ハラスメントの理解を深め、それらに対する予防策とリスク管理について研修を行いました。

取材時の対応について

「かいた議会だより第144号」の記事取材時に不適切な対応がありました。

取材対応者には、ご迷惑、ご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。

今後、このような事案が発生しないよう、取材対応時における遵守事項を策定し、再発防止及び信頼回復に努めてまいります。

令和8年熊本地震に義援金を送付

被災者支援のため、令和8年8月12日に熊本県町村議会議長会を通じ義援金を送金しました。

編集後記

海田町では、日々の生活を守るまちづくりを大切にしつつ、町制施行70周年を迎え、11月に記念イベントが予定されています。

こうした節目の時期だからこそ、華やかなイベントの盛り上がり目に奪われるのではなく、みなさまが日々抱く多様な想いや、日々の暮らしの中にある小さな声にこそ、誠実に向き合いたいと強く感じています。一人ひとりが描く理想や課題にしっかりと寄り添い、これからの海田町の未来が本当に輝かしいものとなるよう、みなさまとともに一歩一歩、確かな歩みを進めていきます。

また、今年の夏も災害や社会の変化が相次ぎ、これまで以上に、地域社会における安心・安全な暮らしの確保が重要視されています。海田町議会でも対応していきます。

（石橋委員）